

心配するより 支え合い

1

1 医師不足や地域偏在を解消

現状と課題

医療施設に従事する医師数は、県全体では増加傾向にあるものの、北播磨・但馬・丹波・淡路地域では減少しており、地域偏在が拡大しています。

また診療科別に見ると特に、産科・小児科等の医師の確保が困難となっています。

県では、へき地勤務医師の養成、地域医師県採用制度、女性医師再就業研修など医師の確保対策を総合的に推進しており、これらに加えて今後は、地域医療を担う人材の育成及び派遣調整を行う仕組みを構築する必要があります。

●兵庫県の病院・診療所数の推移

施設数	施設数								人口10万人対 (平成18)	
	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	兵庫県	全国	
病院	346	349	349	354	352	350	353	6.3	7.0	
うち精神	30	31	32	32	32	32	32	0.6	0.8	
一般診療所	4,481	4,578	4,631	4,712	4,771	4,800	4,851	86.8	77.2	
歯科診療所	2,744	2,775	2,803	2,847	2,872	2,863	2,886	51.6	52.7	

資料 厚生労働省「医療施設調査」

●医師数の推移

医師数	医師数								
	平成4	平成6	平成8	平成10	平成12	平成14	平成16	平成18	
兵庫県	9,682	9,732	10,254	10,576	10,879	11,223	11,569	11,953	
人口10万人対	177.1	176.5	189.5	193.7	196.0	201.2	207.1	213.8	
全国	176.5	184.4	191.4	196.6	201.5	206.1	211.7	217.5	

資料 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」



政策

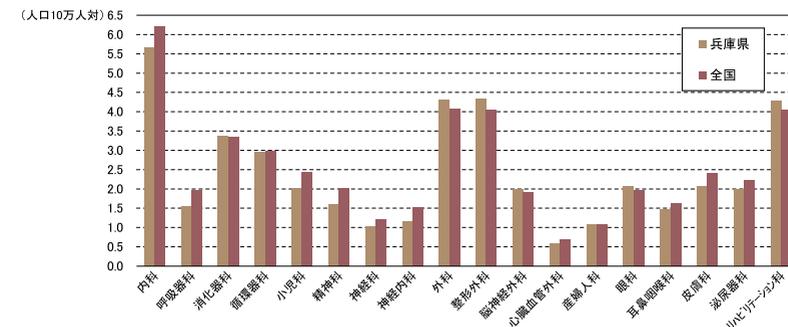
- 地域医療支援医師研修事業の実施
- 産科・小児科の医師確保対策の充実推進
- 医療圏域の確保による医師、医療の効率的配置（兵庫県型医師研修・配置システム）の構築
- 大学医学部と連携したへき地勤務医師の養成・確保
- 出産できる病院・診療所がない空白地帯の解消及び未就業助産婦の活用、院内助産所の整備

●標榜科別病院延べ数

※標榜科とは、病院や診療所が外部に広告できる診療科のことで、標榜診療科ともいう。広告できる具体的な診療科名は医療法で規定されている。

延べ数	人口10万人対	(平成18年)										
		内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	精神科	神経科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科
兵庫県	病院数	316	87	189	165	113	90	58	65	241	243	111
	人口10万人対	5.6	1.6	3.4	3.0	2.0	1.6	1.0	1.2	4.3	4.3	2.0
全国	人口10万人対	6.2	2.0	3.3	3.0	2.4	2.0	1.2	1.5	4.1	4.1	1.9
		心臓血管外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	歯科	歯科口腔外科
兵庫県	病院数	33	60	115	82	115	112	240	214	115	52	35
	人口10万人対	0.6	1.1	2.1	1.5	2.1	2.0	4.3	3.8	2.1	0.9	0.6
全国	人口10万人対	0.7	1.1	2.0	1.6	2.4	2.2	4.0	2.8	2.0	1.1	0.6

●標榜科別病院延べ数



2 救急・救命医療体制の充実

現状と課題

県では、第2次救急医療機関として、県下全医療圏域で175医療機関が病院郡輪番制で対応しています。また、第3次対応として救命救急センターを6カ所（うち1カ所は高度救命救急センター）整備しています。

このほか、平成22年4月からは、公立豊岡病院を基地病院とするドクターヘリを3府県で共同運航するなど、救命・救急医療体制の整備を進めています。

今後とも、救命救急センターの増設や、1次・2次医療機関における救急受入体制の整備が必要です。



▲ドクターヘリ

パパ眠れてる？

- ・うつ病24時間電話相談の開設
- ・企業検診などうつ病・自殺対策の推進

平成28年度までに、県内自殺死亡者を千人以下に減少させることを目標に県、市町、関係団体が連携して防止対策を進めています。相談窓口等の周知と共に「いのちと心のサポートダイヤル」の運営、そして「いのちの電話」24時間体制を整備します。

政策

- 救命救急センターの増設（当面4カ所）
- 安心救急センターの設置など消防と医療機関の連携強化
※救命安心センター：消防機関等に設置される医師らによる24時間体制の相談窓口。住民からの救急相談を受け、必要に応じて救急車の出動要請や相談に応じる。救急搬送の迅速化・的確化や受け入れ先選定の円滑化に大きな成果をあげている。
- 小児救急医療電話相談#8000のバージョンアップ
- 広域調整を含めた周産期・産科救急医療体制の整備
- 関西広域連合による関西全体の防災力の向上

区分	1次(初期)			2次(重症)		3次(重篤)	
	地区名	休日夜間急患センター	在宅当番医制	地域名	病院群輪番制	圏域名	救命救急センター等
地域区分	神戸市 (東灘区・灘区・中央区・兵庫区・北区・長田区・須磨区・垂水区・西区)	◎ (2箇所に対応)	◎ (各区ごと)	東神戸 西神戸	◎ ◎	神戸	●神戸市立医療センター中央市民病院 ●兵庫県災害医療センター ●神戸大学医学部附属病院 ●兵庫医科大学病院
	尼崎市	◎	◎	阪神南	◎	阪神	
	西宮市	◎	◎				
	芦屋市	◎	◎				
	伊丹市	◎	◎	阪神北	◎		
	川西市・川辺郡	◎ ◎	◎ ◎				
	宝塚市	◎	◎				
	三田市		◎				
	明石市	◎	◎	明石	◎	播磨	●県立姫路循環器病センター
	加古川市・加古郡	◎	◎	東播磨	◎		
	高砂市		◎				
	西脇市・多可郡	◎	◎	北播磨	◎		
	三木市		◎				
	小野市・加東市		◎				
	加西市		◎				
	姫路市	◎	◎ (整形外科)	中播磨	◎		
	姫路市(旧家島町)		◎				
	神崎郡		◎				
	たつの市・揖保郡	◎	◎	西播磨	◎		
	宍粟市	◎	◎				
	佐用郡		◎				
	相生市		◎				
赤穂郡		◎					
養父市	◎	◎	西南但馬	◎	但馬	●兵庫県但馬救急センター	
朝来市		◎					
美方郡		◎ (公立病院等に対応)					
豊岡市	◎	◎	北但馬	◎	丹波	●県立柏原病院 ●県立淡路病院	
篠山市	◎	◎	丹波	◎			
丹波市	◎	◎					
洲本市	◎	◎	淡路	◎	淡路		
淡路市	◎	◎					
南あわじ市	◎	◎					
計		22	28		13		8

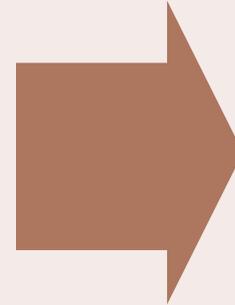
3 介護並びに障害者政策の充実

現状と課題

介護保険制度は、創設時の平成12年度に比べて利用者数が2.6倍に増えています。急速な高齢化進展に伴い、重度要介護者や認知症高齢者が増加する一方で、核家族化により家族が介護できない場合が多く、地域全体で介護を支える体制づくりや、高齢者に配慮した住宅の整備、介護職員の人材確保と処遇の改善などが必要です。

また障害者の福祉サービス利用の増加や自立と社会参加を支える施策の展開が進められています。こうした中で、発達障害など障害種別の多様化や医療的ケアを要する重症心身障害児者等が増加し、当事者や家族の切実な支援ニーズへの対応が必要です。

加えてグループホームや児童デイサービスなどニーズの高いサービスの充実や、障害者の一般就労への移行に向けた取り組み等が必要です。



政策

- 特養ホームの増設による入所待機者の解消
- 介護職員の処遇改善と施設の充実
- 24時間訪問介護・看護サービスの実施
- 地域における高齢者見守り体制の充実
- ユニバーサル社会づくり推進地区の整備



▲お年寄りの元気づくりに取り組みます

●兵庫県における特養ホームなど整備状況及び今後の予定						
補助制度を国の交付金等を活用した計画の前倒し整備の促進を図り、介護保険施設や地域密着型サービスの充実を図る。						
種別	第3期計画 (20年度末実績) A	第4期計画(平成23年度末)			増加数 (D - A)	21年度末 実績
		計画 B	前倒 C	整備数計 D (= B + C)		
特別養護老人ホーム (地域密着含む)	19,832 床	21,879 床	1,080 床	22,959 床	3,127 床	20,052 床
介護老人保健施設	13,876 床	14,445 床	0 床	14,445 床	569 床	13,985 床
短期入所生活介護 (ショートステイ)	3,957 床	4,633 床	180 床	4,813 床	856 床	4,017 床
小規模多機能型 居宅介護	97 施設	176 施設	5 施設	181 施設	84 施設	115 施設
認知症高齢者 グループホーム	4,137 人	5,195 人	268 人	5,463 人	1,326 人	4,284 人

●元気な高齢者(65歳以上)数の推計(兵庫県)

